

# ビル・飲食系に総合対応

## 大昭工業

浄化槽維持管理やグ  
 リストラップ等清掃、  
 一般廃棄物・産業廃棄  
 物の収集運搬を手掛け  
 る大昭工業(本社・名  
 古屋市、木村諭憲智社  
 長、☎052・503  
 ・5311)は新たに、  
 廃プラスチック・  
 チック・  
 紙くすな  
 などによる  
 固形燃料  
 (RPF)  
 製造と蛍  
 光管の破  
 砕、発泡  
 スチロー  
 ル減容固  
 化、廃プ  
 ラなど固  
 形廃棄物  
 の選別ま

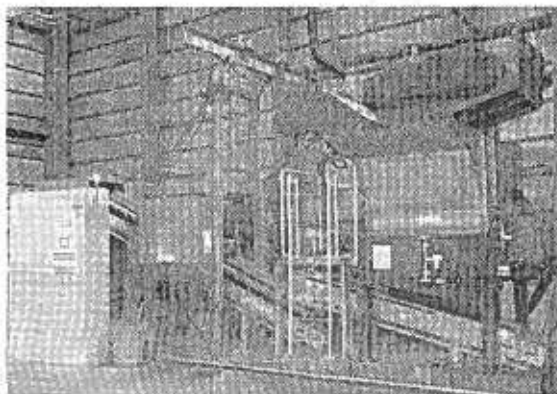


さわやかな外観

## RPF、圧縮、蛍光灯まで 浄化槽、ビルピット合わせ

での中間処理事業に乗  
 り出した。民間ベース  
 の処理を進める名古屋  
 市の施策を積極的に受  
 け止め、従来の浄化槽  
 ・ビルピット清掃など  
 に、ビル・飲食店から  
 の固形廃棄物全般を扱  
 う。木村社長は「あく  
 まで収集運搬がメイン  
 だが、排出事業者のさ  
 まざまな要望に応えら  
 れるようになった。小  
 口の顧客にも質の高い  
 サービスを提供した  
 い」としている。

同社は1965年  
 (昭和40年)の創業で、  
 発足以来、浄化槽維持  
 管理や受水層・高架水  
 槽の清掃、下水管清掃、  
 配水管清掃、地下槽、グ  
 リストラップ、プール  
 の清掃など水廻りの事  
 業を中心にしてきた。  
 95年には名古屋市的事  
 業系一般廃棄物収集運  
 搬業の許可を取得、廃  
 棄物事業に乗り出した。  
 近年、市の施策や排出  
 事業者からの要望もあ  
 り、自社  
 で収集運  
 搬してい  
 る廃棄物  
 をメイン  
 に減量、  
 資源化を  
 進め、コ  
 スト削減  
 と顧客層  
 拡大のた  
 めに中間  
 処理を行  
 うことに  
 した。  
 CO<sub>2</sub>対策にもいち  
 早く着手した。本件事  
 務所とバキューム車・  
 廃棄物収集運搬車のほ  
 か、社員の通勤、社長の  
 出張まで、事業に係る  
 あらゆる段階のCO<sub>2</sub>  
 排出量を算出し、その  
 全量をカーボンオフセ  
 ットした。



RPF設備も導入した

り、自社  
 42t、発泡スチロー  
 ル減容固化(同0・1  
 89t)、廃プラなど固  
 形廃棄物の選別を行  
 う。設備一式はフジテ  
 ックス(東京・新宿)  
 が手掛けた。  
 本社付近には汚泥の  
 積替え保管施設も備え  
 ている。新工場の竣工  
 で、従来の水廻りの顧  
 客から廃棄物も受けら  
 れるようになり、スポ  
 ットものや小口にも迅  
 速に対応できる。